

先進的なボディスキナーの運用評価試験の結果概要 ～平成28年度から全国の主要空港へ順次導入していきます～

昨年10月から12月まで、関西、成田、羽田の3空港で国土交通省が実施した先進的なボディスキナーの運用評価試験の結果概要をお知らせします。

1. 検査時間は平均約80秒で、全身の接触検査に比べて平均約10秒の時間短縮ができました。今後の工夫で更なる時間短縮に努めます。
2. お客様アンケートの結果(約2,500名)は、検査全般と今後の導入について約7割のお客様に好意的に受け止めていただきました。
こうした結果を踏まえ、平成28年度から全国の主要空港へ順次導入していきます。

昨年5月、国際組織犯罪等・国際テロ対策推進本部(本部長:官房長官)で、「邦人殺害テロ事件等を受けたテロ対策の強化について」が決定され、「空港における先進的な保安検査機器の導入による保安検査の高度化を検討する」ことが盛り込まれました。航空局では、保安検査を厳格化しつつ旅客流動の円滑化も配慮すべく、諸外国で導入が進む先進的なボディスキナーの導入を検討するため、運用評価試験を実施しました。

本評価試験の結果は以下のとおりです。

1. 保安検査場の運用への影響

(1) ボディスキナー検査を受けたお客様 : 3空港合計で17,765名

先進的なボディスキナーの場合 検査時間 平均約80秒※1

(参考) 全身の接触検査の場合 " 平均約90秒※2

※1 ボディスキナーに入ってから接触検査が終了するまで

※2 門型金属探知器に入ってから接触検査が終了するまで

(2) 今後の改善点

ボディスキナーによる検査が初めてのお客様がほとんどだったこともあり、説明に相当の時間を要しました。そのため、今後は

- ① 保安検査を受ける前の準備(上着等を脱いで、ポケットの中のすべての所持品を出していただく)
- ② 保安検査を受けるときの姿勢(機種によって静止または回転)についての周知方法を工夫し、検査の効率化や時間短縮に努めます。

2. お客様アンケートの結果(詳細は別紙をご覧ください)

(1) アンケートに御協力いただいたお客様 : 3空港合計で2,509名

① ボディスキナー 検査全般	満足・おおむね満足	70%
	特になし・無回答	22%
	やや不満・大いに不満	8%
② 今後の導入	積極的に導入・どちらかといえば導入	73%
	特になし・無回答	22%
	『全身の接触検査』を行うほうがよい	5%

(2) 今後の改善点

概ね好意的に受け止めていただきましたが、一方で、ボディスキナー検査に対して不満を感じているお客様や、全身の接触検査のほうがよいと感じているお客様がいらっしゃることを十分踏まえ、引き続き、周知・広報活動や検査時において、お客様一人一人に対し、慎重かつ丁寧な対応を行ってまいります。

【問い合わせ先】

国土交通省 航空局 安全部 空港安全・保安対策課 **航空保安対策室**

(国土交通省代表) **03-5253-8111** 内線 **48318** または **48328**

(上記内線番号は先進的なボディスキナー運用評価試験問い合わせ専用内線のため、土・日・祝祭日を除く平成28年4月28日までの期間限定です)

担当: 中村(なかむら)、河内(かわち)、有田(ありた)

FAX: 03-5253-1663